

海水浴場等の入込状況について

昨年度は天候に恵まれましたが、本年度は週末を中心とした天候不順や台風の影響により、市内の海水浴場・市営プールにおける観光客などは大幅に減少しています。

なお、B&G海洋センタープールは、室内プールのため天候に左右されることなく入込客は微増となっています。

静波海水浴場は6月30日、さがらサンビーチは7月1日にオープン、B&G海洋センタープールは7月1日、牧之原市シーサイドプール地頭方は7月23日に営業を開始しました。

記

1 入込状況

- (1) 市営海水浴場駐車場駐車台数（8月21日現在）*大型・二輪車含む
 - ・静波 9,911台（昨年：16,188台） 前年比61.2%
 - ・さがら 3,400台（昨年：5,665台） 前年比60.0%
 - ・市全体 13,311台（昨年：21,853台） 前年比60.9%
- (2) B&G海洋センタープール入場者数（7月1日から8月21日まで）
 - ・23年度 5,643人（前年比 123%）
 - ・22年度 4,582人
- (3) 牧之原市シーサイドプール地頭方入場者数（7月23日～8月21日）
 - ・23年度 5,292人（前年比 94%） *8月21日で営業終了
 - ・22年度 5,627人

2 概要

- (1) 海水浴場駐車台数からみると、市全体として4割のダウンとなっている。
- (2) シーズン開始の7月の3連休（海の日）は、海水浴場内でのさまざまなイベント開催により入り込みがアップする要素があったものの、休日や週末の台風の影響により大幅な減となった。お盆時期も例年程客足の伸びがなかった。
- (3) 観光協会より、宿泊状況については昨年度と比べ減少していると聞いている。

3 現状

- (1) 毎週末の台風の影響や天候不順が伸びを鈍らせた。
- (2) 開始直前には、原発の影響から安全面での問い合わせも多かったが、市や県による放射能測定結果の情報提供により、開設時には問い合わせ等はなかった。
- (3) 昨年からは静波海水浴場にライブカメラによる動画が追加され、市外・他県から出かける場合、現地の天候情報を得るのが容易になった。
- (4) この他、関東圏からの遊泳客も目にとまった。
- (5) 今年度も報道各局で、警備本部や海水浴場を取り上げていただき、海水浴場の現状がリアルタイムでお茶の間に流されたことは良かった。